

鳥取市さじアストロパーク

織 部 隆 明

〈鳥取市さじアストロパーク 〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1〉

e-mail: sj-astro@city.tottori.lg.jp

鳥取市さじアストロパークは、日本屈指の103 cm反射望遠鏡、プラネタリウム、太陽望遠鏡、星や宇宙に関するさまざまな展示物などのほか、望遠鏡付きの宿泊コテージやペンションなどの宿泊施設も備えた、国内有数の公開天文台です。充実した設備もさることながら、4名の専門職員が日々の観察会やプラネタリウム投影、展示や著作物の作成、出張授業や観望会、天文現象の記録などの活動を行っています。

1. これまでの経過

さじアストロパークは、1994（平成6）年7月にオープンしました。この施設は当時の佐治村が、自然を活かした村おこし施設として開設しました。メインの103 cm反射望遠鏡は、オープン時、公開天文台としては日本で一番大きな望遠鏡でした。当時は公開天文台建設ラッシュの時代で、「日本一を目指して、数cmを競い合っている」という批判もありましたが、もともとは95 cmの予定だったものが鏡材の関係で103 cmとなり、たまたま日本一になったというのが本当のところです。

その後、2004（平成16）年11月には鳥取市と合併し、「鳥取市さじアストロパーク」という名称に変わりました。そして現在まで、鳥取市の教育施設として活動を続けています。

2. 施設の特徴と取り組み

この天文台の特徴は、103 cm望遠鏡以外に太陽専用の望遠鏡やプラネタリウム、710 m²の展示スペース、120名を収容できる会議室など、望遠鏡以外の設備も充実しているということです。さらに全国的にも珍しい望遠鏡付きの宿泊コテージ「サブ天文台」4棟や、ペンション「コスモス

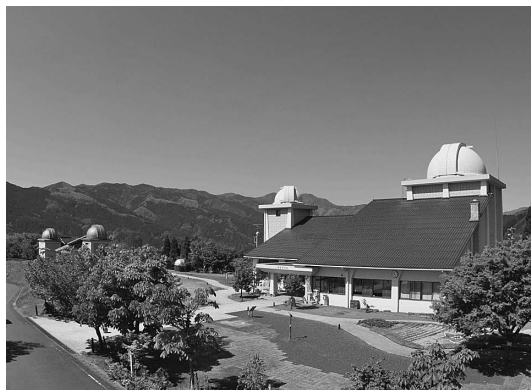


図1 鳥取市さじアストロパークの外観。

の館」など宿泊施設も整っています。

これら充実した設備と4名の専門職員を活かし、毎日の夜間観望会（星空観望会）やプラネタリウム投影はもちろん、特別な天文現象などに合わせたイベントや展示、地元の方々の協力で実施する「星まつり」「月まつり」、冬場のたくさんの雪を使った「雪まつり」など、さまざまな取り組みを行っています。

3. 近年の活動状況

鳥取市の教育施設となり、地域内の小中校、公民館などの教育関連施設の数が一気に増えまし

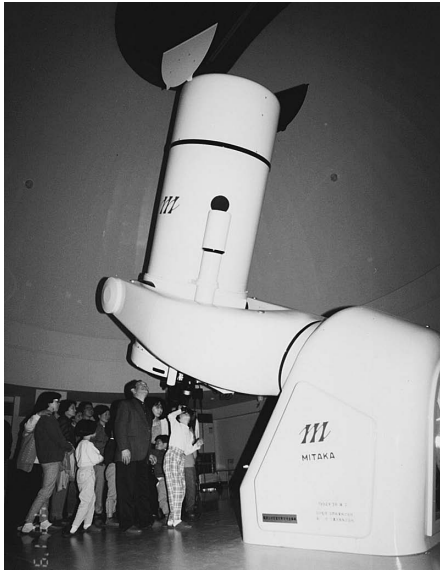


図2 103 cm 反射望遠鏡.

た。そのような教育施設と連携し、出張星空観察会や出張授業、教員研修などの取り組みを今まで以上に進めています。

また、鳥取市佐治町では「五（ご）しの里さじ地域協議会」という組織を立ち上げ、林業や農作業体験、魚のつかみどりなどの自然体験、郷土料理作りなどの田舎体験をしてもらう取り組みを行っています。2011年度は鳥取市内の五つの小学校が2泊3日で宿泊活動を行いました。中山間地域振興の一環として、鳥取市もバックアップした取り組みを進めており、来年度は8校に拡大して実施する予定です。鳥取市さじアストロパークは、「五し（最後に“し”がつく佐治の名物で、星・梨・佐治谷話・佐治川石・手すき和紙の五つ）」の一つ「星」の分野を担当しています。

比較的自然が多く残っている鳥取市でも、満天の星空や流れ星を見たことがある子どもたちは非常に少なく、そういう子どもたちに本物のすばらしい星空を体験してもらえることは非常に意義深いと思います。今後は京阪神方面をターゲットとした修学旅行などの教育旅行の誘致に向け、地域と連携した取り組みを進めていきたいと考えてい



図3 望遠鏡付きコテージ「サブ天文台」.

ます。

4. これからの活動

当初から掲げている「21世紀の地球市民に“天文”は必修科目」を基本コンセプトに、鳥取市民天文台としていろいろな活動を展開したいと考えています。他施設同様、財政的な問題から活動規模や職員体制は縮小せざるをえない状況ですが、夢や希望を描きにくい今こそ、「宇宙から地球や人間を見つめる」という俯瞰的視点や、「人間も宇宙の一部である」という謙虚さの必要性を多くの方に知っていただきたいと思っています。

また、近年は滞っている103 cm望遠鏡を活用した観測的な取り組みも復活させたいところです。香西洋樹・佐治天文台長が得意とした太陽系小天体の分野を引き継ぎ、天文学の世界にも貢献したいと考えています。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山1071-1

Tel: 0858-89-1011 Fax: 0858-88-0103

<http://www.saji.city.tottori.lg.jp/saji103/>

※開館時間や入館料などは、ホームページでご確認ください。場所は鳥取自動車道 用瀬ICから車で約25分の山の上です。公共機関での来館はたいへん不便ですので、自動車をご利用ください。